

あいち 食品工業技術センターニュース

2018年1月号

今月の内容 ● トピックス

● 技術解説「シンクロトン光分析による食塩の微量成分調査」

トピックス

● 食品工業技術センターの業務紹介

新年に当たり、改めてあいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターの業務のうち業界関係者の方に関連深いものを紹介させていただきます。

・ 研究開発業務

新技術・新製品の開発、既存技術の高度化を目指し、テーマを決めて実施します。また、必要に応じて産学行政の共同研究体制を組み、国等へ提案応募します。結果は、成果普及講習会等で発表します。

・ 技術指導・技術相談業務

工場の生産現場等へ出向いて、お話を伺いながら行う現場技術指導とセンターへお越しただいで、お話を伺いながら行う所内指導があります。また、技術相談は、簡易な技術的問題や依頼試験の結果の疑問点等に電話、FAX、Eメール等でお答えするものです。この指導・相談は原則無料です。

・ 人材育成業務

中小企業などの技術者を対象に研修生としてセンターに一定期間お越しただいで、研究や技術の修得をしていただきます。センターの技術的蓄積を利用したアドバイスを受けることができます。研究や技術修得に必要な原材料、消耗品等は負担いただきます。

・ 依頼分析・試験業務及び受託研究

新製品の開発や品質管理に必要な成分分析、微生物検査、その他混入異物の分析、電子顕微鏡・光学顕微鏡写真撮影、DNA解析等の試験を行っています。また、当センターの技術的蓄積を使って解決できる課題について、研究を委託していただく受託研究の制度もあります。これらの費用は有料です。

・ 機器貸付業務

センターの所有する一部の加工機器等を有料で貸し付けします。分析機器はメンテナンス等の都合により貸付機器に含んでいません。依頼試験・分析の制度をご利用ください。

・ 情報提供業務

講演会、講習会の主催や共催、ホームページ、電子メールによる情報提供を行っています。

・ その他

あいち産業科学技術総合センターのネットワークを活かして、あいち産業科学技術総合センター本部を初めとする県その他センターや国や名古屋市の機関を必要に応じて紹介させていただきます。

● 愛知県の食品工業の現状を紹介します。

平成 28 年 6 月に実施された経済産業省の「平成 28 年経済センサスー活動調査（確報）」が 12 月 25 日に公表されました。そこで、この中から愛知県の食品工業について、現状を紹介します。

（注：従業員 4 人以上の事業所での統計表から抜粋、食料品は飲料・たばこ・飼料を含む。）

1) 愛知県の主要産業出荷額等

	出荷額（億円）	構成比（％）	前年度比（％）
総額	460,483	100.0	105.1
1位 輸送用機械器具	254,885	55.4	108.4
2位 鉄鋼	23,550	5.1	92.1
3位 食料品	22,144	4.8	108.1
4位 電気機械器具	21,967	4.8	102.4
5位 生産用機械器具	19,775	4.3	111.0

2) 食料品の都道府県別出荷額等

	出荷額（億円）	構成比（％）
全国	383,426	100.0
1位 北海道	24,731	6.5
2位 静岡県	24,234	6.3
3位 愛知県	22,144	5.8
4位 兵庫県	20,070	5.2
5位 神奈川県	18,931	4.9

3) 愛知県の食品工業の推移

年度	事業所数	従業者（人）	出荷額（億円）
23	1,675 (8.5)	66,016 (8.6)	20,825 (5.6)
24	1,513 (8.5)	66,432 (8.6)	20,282 (5.1)
25	1,441 (8.4)	67,755 (8.6)	19,775 (4.7)
26	1,397 (8.6)	67,524 (8.0)	20,493 (4.7)
27	—	—	—
28	1,414 (8.1)	65,716 (8.0)	22,144 (4.8)

（注：括弧内は全製造業に対する比率（％））